小学校･高学年編　第1部　3
「『いのち』を深く愛する」

1　学　年　　第６学年

2　主題名　　「明るい心で　」

3　内容項目　１－（２）　より高い目標を立て、勇気と希望をもってくじけないで努力する。

4　テーマ　　Ａ　人としてのあるべき姿

5　主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

自分を向上させながら、可能性を求めて努力することができるのは、人間固有の特性である。そして、人間は生まれながらにして、よりよく生きたいという気持ちを持っている。子どもたちにも自分の人生を輝かせる生き方をしてほしい。そのために、まず必要なものが夢、理想である。次に、夢、理想に向かって着実に前進していこうとする強い意志、あきらめない気持ちである。これらのことに気付かせ、自分も光輝く生き方をしたいという意欲を持たせたい。

(2) 資料について

筆者は、「いのち」とは、人生を輝かせるものであり、その「いのち」を持つために、体力と心力が大切になってくると述べている。心力とは、気持ちが活発に動くときの力であり、どんどん勉強しようとする心、進んでいいことをしようとする心、進んで人を助け、他人の気持ちや自然のありさまに美しさを感じる心が生き生きと動いている時の力である。本資料では、心力を持つときに人間が生き生きとし、生命が輝くのだと、努力することの大切さを訴えようとしている。

「いのち」や「心力」ということばについて確認し、共通理解しながら、自分自身の生活を振り返らせ、努力することの大切さを考えさせたい。

6　本時のねらい

筆者のメッセージから、自分自身の日常生活を振り返り、くじけずに希望と勇気を持って取り組もうとする心情を養う。

7　授業改善の視点

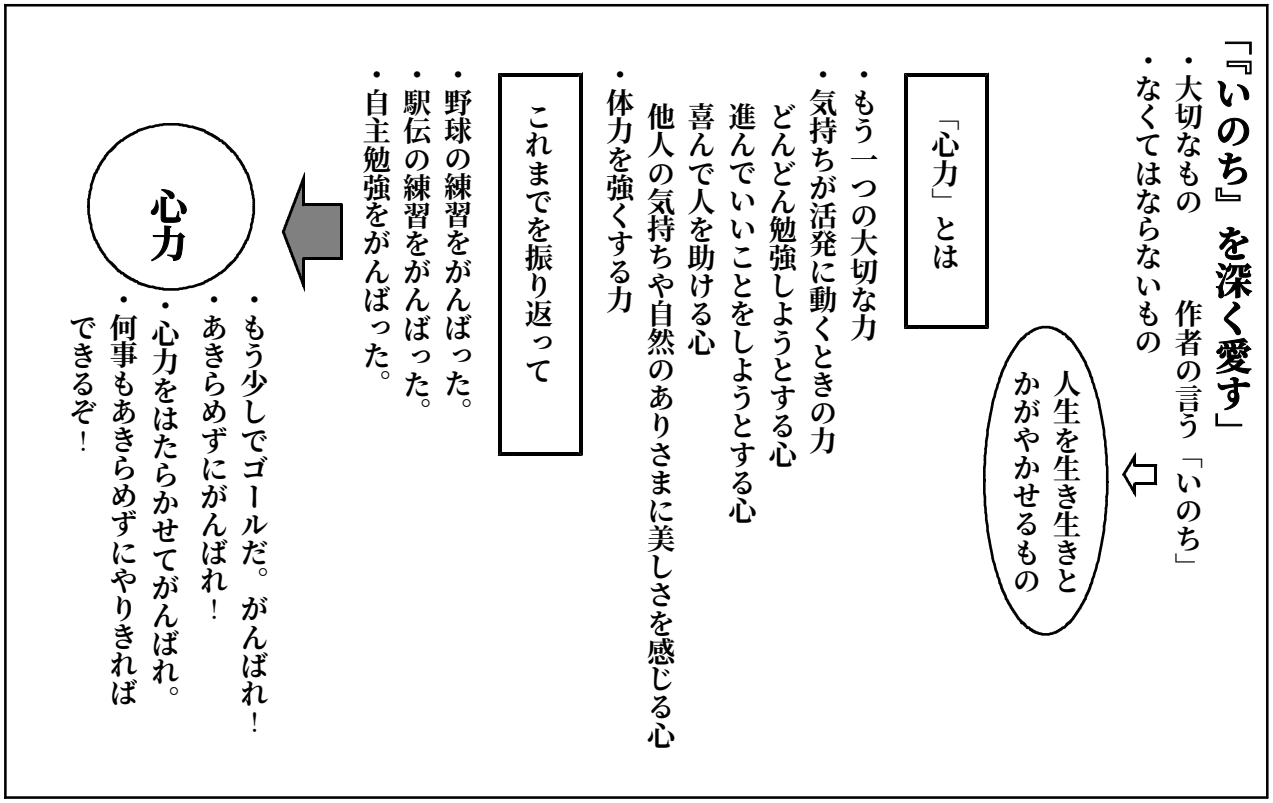
（１）児童がこれまでの生活を振り返り、思い出して発言しやすいように、４月からの学校生活の記録・写真等を多く掲示しておく。

（２）終末で、自分を高めながら活躍している人たちの紹介では、児童が日頃から興味を持っている人物の紹介資料を準備する。

8　本時の展開

過程	学習活動	主な発問 予想される児童の発問	指導上の留意点	資料・評価等
導入	1題名から考えたことを、交流する。	○あなたにとって「いのち」とはどんなものですか。 ・大切なもの ・なくてはならないもの	・資料への方向付け、学習への動機付けを図る。	
展開（前段）	2資料「『いのち』を深く愛する」の前半を読んで考える。 3資料「『いのち』を深く愛する」の後半を読んで考える。	○筆者は「いのち」について、どのように考えていますか。 ・人生を生き生きとかがやかせるもの ○筆者は「心力」とはどのようなものだと考えていますか。 ・もう一つの大切なもの ・気持ちが活発に動くときの力 （どんどん勉強しようとする心、進んでいいことをしようとする心、喜んで人を助ける心、他人の気持ちや自然のありさまに美しさを感じる心等） ・体力を強くする力	・医学的な脳死状態に結び付けることへの配慮をする。 ・児童の考えている「いのち」と作者の考えの違いをしっかり押さえる。 ・筆者の言葉を考えながらよりよい心とは何かを押さえる。	
展開（後段）	4これまでの自分について考える。	○これまでにがんばってやったなあと思うことはありませんか。 ・野球大会・運動会の鼓笛練習等 ◎くじけそうな自分、やめたいと思う自分にどんな言葉をかけますか。 ・もう少しでゴールだよ。がんばれ。 ・あきらめずにがんばれば、きっとできるよ。 ・心力をはたらかせてがんばれ。 ・何事もあきらめずに最後までやりきればできるぞ。	・自分の生活を振り返らせる。 ・具体的に答えさせる。 ・「やめたいなあ。」と思うもう一人の自分に気付かせる。 ・そのがんばる力こそ「心力」であることを押さえる。	
終末	5教師の説話を聞く。 6授業で考えたこと、心に残ったことを書く。	○この授業で心に残ったこと、考えたことを「心のノート」に書き留めて　おきましょう。	・自分を高めながら活躍している人たちの紹介をし、心力を持ってがんばろうとする気持ちを高める。	「心のノート」 自分の生活を振り返り、これからも何かを粘り強く取り組もうという気持ちを持とうとしている。

9　板書計画



10　児童の感想

○　みんな知らないけど努力すれば身に付いてくるんだと思いました。自分では心力があるのかは分からないけど、もしあるなら心力はぼくたちに力をかしてくれていると思いました。心力は努力がなければならないから、努力が自分のためになったんだと思います。心力はすごいと思いました。ぼくもいっぱい努力して心力を身に付けたいと思う。

○　「『いのち』を深く愛する」を読んで、勉強して、自分がマラソンを走りきれたのも「心力」があったからなんだと思った。心力があれば「いのち」がかがやけると分かったので、何でも努力してやっていこうと思ったし、幸福は自分で努力しなくては自分の所にやってこないと分かった。

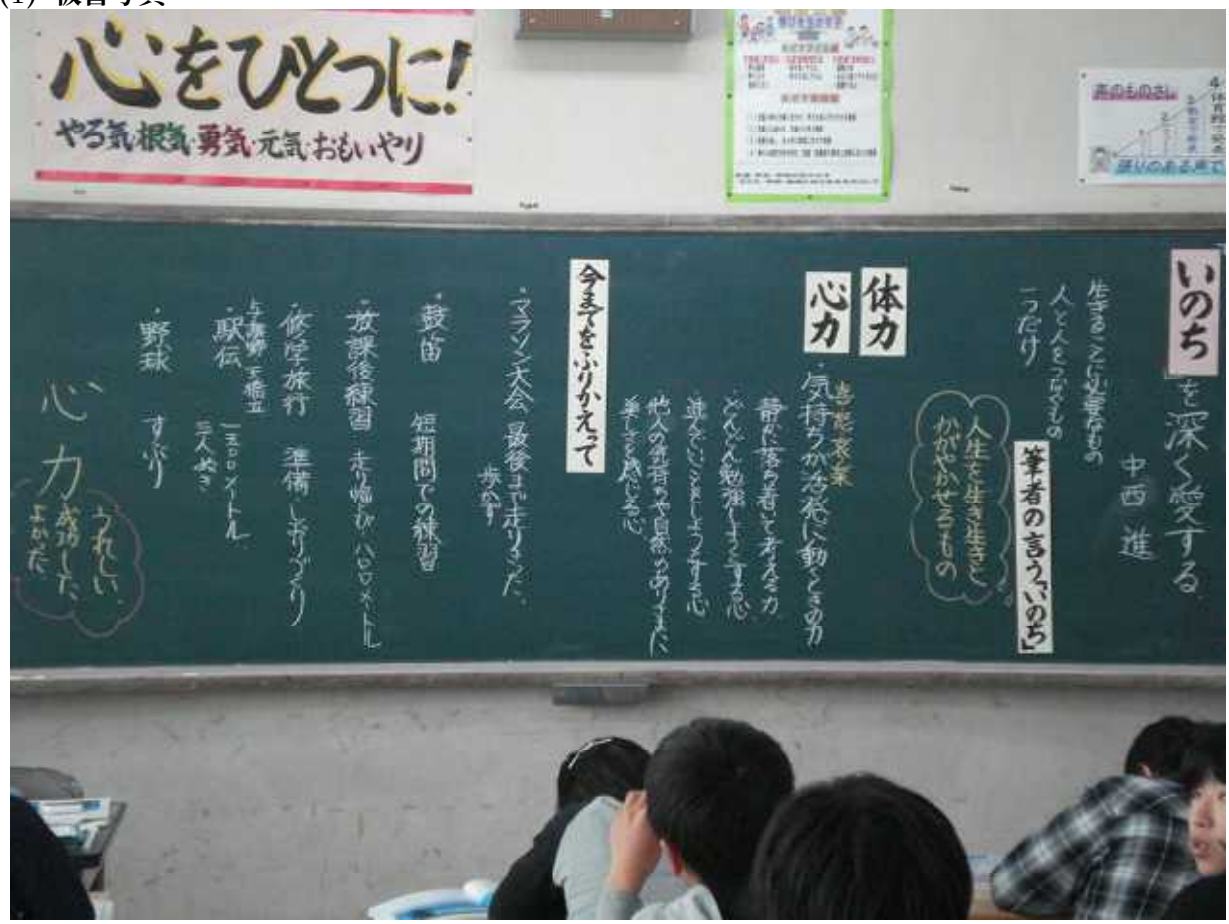
○　ぼくは生きるためには心力が必要だと今日思いました。今まで「心の力」だとかいわれてきたけどよく分かりませんでした。でも筆者の言うとおりだと思います。ぼくは、マラソン大会で走りきれたのも、心力があったからだと思います。ぼくはこれからもかがやき続けていきたいと思います。

○　一人一人が今までを振り返って、最後までやり抜いたことはだれでもあるんだと思った。全員が最後まであきらめずに努力したんだと思った。心力は人の気持ちが一番表れることだと思ったし、その心や力を愛することができると思った。

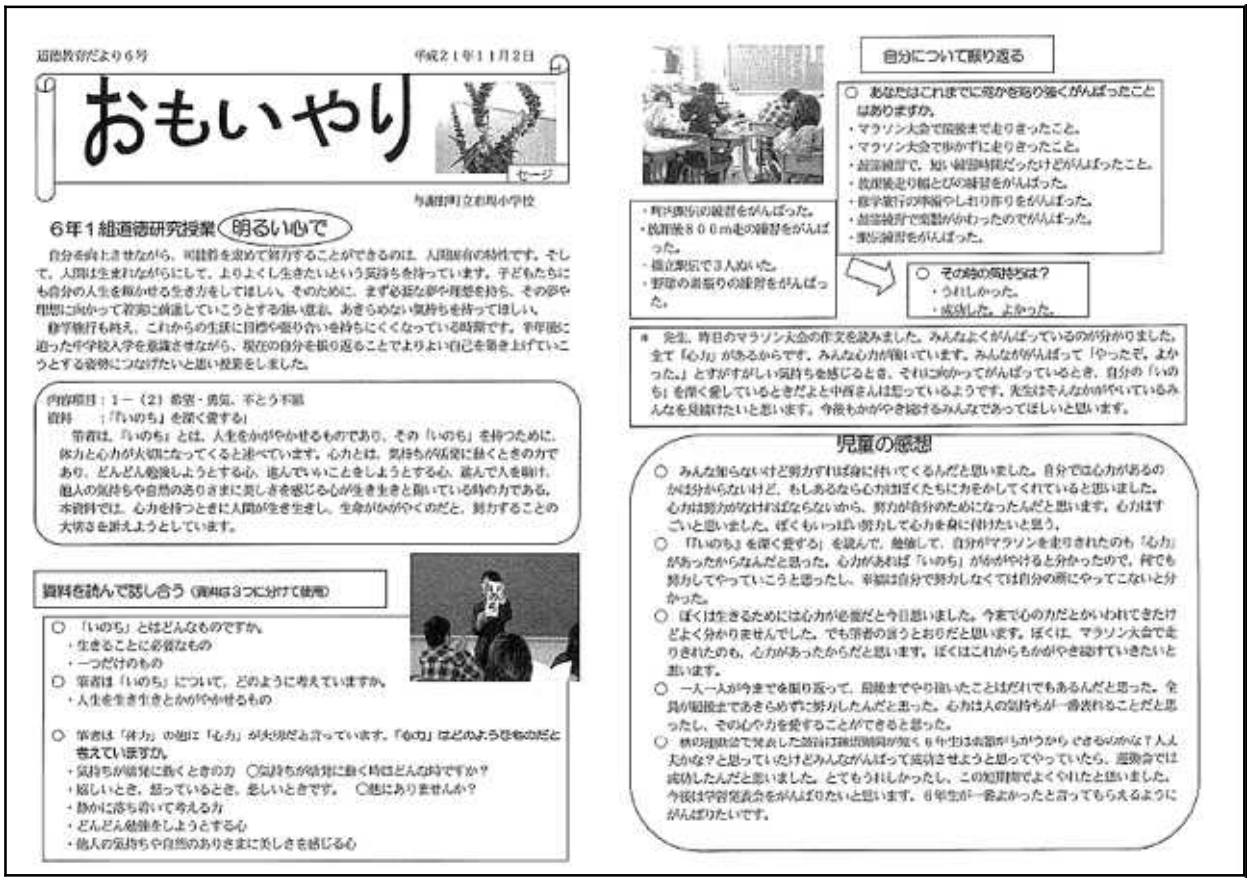
○　秋の運動会で発表した鼓笛は練習期間が短く 6 年生は楽器がちがうからできるのかな？大丈夫かな？と思っていたけどみんながんばって成功させようと思ってやっていたから、運動会では成功したんだと思いました。とてもうれしかったし、この短期間でよくやれたと思いました。
　今後は学習発表会をがんばりたいと思います。６年生が一番よかったと言ってもらえるようにがんばりたいです。

11　資料

(1) 板書写真



(2) 道徳だより



道徳教育だより6号　　平成21年11月2日

おもいやり

与謝野町立石川小学校

6年1組道徳研究授業（明るい心で）

自分を向上させながら、可能性を求めて努力することができるのは、人間固有の特性です。そして、人間は生まれながらにして、よりよくし生きたいという気持ちを持っています。子どもたちにも自分の人生を輝かせる生き方をしてほしい。そのために、まず必要な夢や理想を持ち、その夢や理想に向かって着実に前進していこうとする思い意志、あきらめない気持ちを持ってほしい。

修学旅行も終え、これからの生活に目標や張り合いを持ちにくくなっている時期です。卒年度に迫った中学校入学を意識させながら、現在の自分を振り返ることでよりよい自己を築き上げていこうとする姿勢につなげたいと思い授業をしました。

内容項目：1－（2）希望・勇気、不とう不屈
資料　　：「『いのち』を深く愛する」

筆者は、『いのち』とは、人生をかがやかせるものであり、その「いのち」を持つために、体力と心力が大切になってくると述べています。心力とは、気持ちが活発に動くときの力であり、どんどん勉強しようとする心、進んでいこうとしようとする心、読んで人を助け、他人の気持ちや自然のありさまに美しさを感じる心が生きいきと輝いている時の力である。本資料では、心力を持つときに人間が生きいきし、生命がかがやくのだと、努力することの大切さを考えようとしています。

資料を読んで話し合う（資料は3つに分けて使用）

○　「いのち」とはどんなものですか。
・生きることに必要なもの
・一つだけのもの

○　筆者は「いのち」について、どのように考えていますか。
・人生を生きいきとかがやかせるもの

○　筆者は「体力」の他に「心力」が大切だと言っています。「心力」はどのようなものだと考えていますか。
・気持ちが活発に動くときの力　○気持ちが活発に動く時はどんな時ですか？
・楽しいとき、怒っているとき、悲しいときです。　○悲にありませんか？
・静かに落ち着いて考える力
・どんどん勉強をしようとする心
・他人の気持ちや自然のありさまに美しさを感じる心

自分について振り返る

○　あなたはこれまでに何かを粘り強くがんばったことはありますか。
・マラソン大会で最後まで走りきったこと。
・マラソン大会で歩かずに走りきったこと。
・放課後練習で、短い練習時間だったけどがんばったこと。
・放課後走り幅とびの練習をがんばった。
・修学旅行の準備やしおり作りをがんばった。
・放課後練習で笛吹きがかわったのでがんばった。
・駅伝練習をがんばった。

・町内駅伝の練習をがんばった。
・放課後８００ｍ走の練習をがんばった。
・橋立駅伝で３人ぬいた。
・野球の素振りの練習をがんばった。

○　その時の気持ちは？
・うれしかった。
・成功した。よかった。

＊　先生、昨日のマラソン大会の作文を読みました。みんなよくがんばっているのが分かりました。全て「心力」があるからです。みんな心力が輝いています。みんながんばって「やったぞ、よかった。」とすがすがしい気持ちを感じるとき、それに向かってがんばっているとき、自分の「いのち」を深く愛しているときだよと中西さんは思っているようです。先生はそんなかがやいているみんなを見続けたいと思います。今後もかがやき続けるみんなであってほしいと思います。

児童の感想

○　みんな知らないけど努力すれば身に付いてくるんだと思いました。自分では心力があるのか分からないけど、もしあるなら心力はぼくたちに力をかしてくれていると思いました。心力は努力がなければならないから、努力が自分のためになったんだと思います。心力はすごいと思いました。ぼくもいっぱい努力して心力を身に付けたいと思う。

○　「『いのち』を深く愛する」を読んで、勉強して、自分がマラソンを走りきれたのも「心力」があったからなんだと思った。心力があれば「いのち」がかがやけると分かったので、何でも努力してやっていこうと思ったし、卒業は自分で努力しなくては自分の所にやってこないと分かった。

○　ぼくは生きるためには心力が必要だと今日思いました。今まで心の力だとかいわれてきたけどよく分かりませんでした。でも筆者の言うとおりだと思います。ぼくは、マラソン大会でゴールきれたのも、心力があったからだと思います。ぼくはこれからもかがやき続けていきたいと思います。

○　一人一人が今までを振り返って、最後までやり抜いたことはだれでもあるんだと思った。全員が最後まであきらめずに努力したんだと思った。心力は人の気持ちが一番表れることだと思ったし、その心の力を使うことができると思った。

○　秋の運動会で発表した放課後練習時間が短く６年生はお箸がうまくつかえないから、どうしようかな？と思っていたけどみんながんばって成功させようと思ってやっていたら、運動会では成功したんだと思いました。とてもうれしかったし、この短期間でよくやれたと思いました。今後は学習発表会をがんばりたいと思います。６年生が一番よかったと言ってもらえるようにがんばりたいです。